

民生環境水道常任委員会行政視察報告書

平塚 茂

○静岡県磐田市

磐田市クリーンセンターの概要について

【所見】

磐田市クリーンセンターは、平成23年に、既設のクリーンセンターに隣接して旧施設の地域振興策として設置されていた野球場の敷地を活用し、同じ区域に建設された最新のごみ焼却施設である。今後足利市が進めようとしている、南部クリーンセンターの敷地内に新たな焼却炉を新設する計画と同じような条件での施設建設であり、今回の視察は非常に参考になった。

磐田市では新炉建設を旧施設と同じ地区に建設する際の、地元との協議に3年を要し、丁寧な地元の協議を重ねたという経過を伺い、足利市においても早急な新炉建設が求められているにしても、結論ありきではなく、しっかりと地元住民との協議が必要であると痛感した。また地元振興策等についても、地域住民の皆さんの要望をよく聞き対応することが求められる。そのような信頼の積み重ねにより、円満に地域の皆様の、了解をいただくよう努力するべきと思う。次に施設についてであるが、焼却炉の焼却能力は、112トン／日の2基の炉が設置されているが、実際には、ごみの排出予測を大きく見積もったために、若干過大であったようである。災害ごみの焼却なども想定されているようだが、通常は焼却能力が余っている。そのため併設されている発電機の発電容量が管理会社との契約上の想定発電量に達せず不足しているとのことで、不都合になっているようだった。

足利市の新設焼却施設においても、発電機の設置は考慮されると考えるが、その発電機の発電量の予測と発電機の維持管理の経費のバランスは十分注意を払う必要があると思った。また焼却灰の減容量を図る熔融炉についても、現状は、熔融して生産する熔融スラグの引き取り先が安定して確保できずに、熔融炉の稼働率が低い状態になっているとのことである。足利市においても灰熔融炉の導入が検討されると思うが、非常に高いコストとなるので、熔融スラグの引き取りが安定的に保証されるのか、十分検討し、導入の是非を含め、慎重な検討が必要であると思った。また磐田市議会においては、特別委員会を設置して、新炉の形式等審議を行ったということであり、足利市議会においても、早い時点で調査特別委員会の設置をするべきであると考え。いずれにしても今回の視察結果を今後の議論につなげたいと思う。

○静岡県袋井市

健康チャレンジ！！すまいる運動「健康マイレージ制度」について

【所見】

袋井市においては、市民の健康維持のために平成19年から健康マイレージ制度を導入して8年が経過をしており、効果を上げているとのことであった。足利市においても健康マイレージ制度の導入をするべきと考えていたので、今回の視察は大変参考になった。

袋井市のマイレージ制度においては、マイレージ（一般成人用）、すまいる手帳（児童、生徒対象）e-すまいる（平成21年度から導入、携帯電話、パソコンを使ったシステム）の3方式が実施されている。健康づくりに取り組む市民の意識づけのために、ポイントを付与して、（1ポイント2円）健康づくりを推進するものであるが、金額的なメリットはわずかなので、参加者の確保はかなり努力が必要と感じた。袋井市でも参加者の人数が伸び悩んでいるようで、普及啓発が難しいようである。この制度は、ある意味で市民の健康維持に努めようという意識が相当高くないと、参加者が確保できないと感じた。

袋井市では関係職員の企業訪問やインターネットを活用したe-すまいるの導入、幼稚園や小学校へのポイント寄付制度の導入、ポイント交換メニューに『野菜いっぱいマーク表示店』の共通お食事券の導入など工夫を重ねた地道な努力により、参加者が確保できているようである。この積み重ねが必要であり、制度を定着させ、市民の健康増進の努力を促すことが期待できる。

健康マイレージ制度は地道な施策であるが、一人一人の市民が、自ら考え、健康維持に努めることにより健康な市民がふえ、健康保険制度が健全に維持できていくものとする。足利市においても、早急に導入することを望むものである。